

入 札 公 告

令和 6 年 6 月 18 日

補助事業名 令和 5 年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業
(仮称) 介護老人保健施設 亀の里 見守り支援機器導入 一般競争入札

事業実施主体

医療法人タピック

理事長 宮里 好一

1. 一般競争入札に付する事項

- (1) 事業実施主体： 医療法人タピック 理事長 宮里 好一
- (2) 補 助 事 業 名： 令和 5 年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業
- (3) 入 札 名 称： (仮称) 介護老人保健施設 亀の里 見守り支援機器導入
- (4) 納 品 場 所： 沖縄県沖縄市比屋根二丁目 15 番 2 号
- (5) 入 札 の 概 要： 見守り支援機器導入の伴う設備要件のとおり
- (6) 納 期 期 間： 引渡し 令和 7 年 2 月 末日 (予定)

2. 競争入札参加資格

次に掲げる条件をすべて満たしている有資格業者であること
必要な資格に関する事項は、次のとおりである

- (1) 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当していないこと
- (2) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者でないこと
- (3) 警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者等及びこれに準ずるものとして公共工事からの排除要請があり、当該状況が継続している者でないこと
- (4) 国内に本店（本社）・支店（支社）がある者

3. 入札日程

(1) 公募期間

日 時：令和 6 年 6 月 18 日 (火) 17 時 00 分～
令和 6 年 6 月 27 日 (木) 17 時 00 分

(2) 申込方法

別紙の「一般入札参加申込書」を提出

【提出先】 沖縄リハビリテーションセンター病院

沖縄県沖縄市比屋根二丁目 15 番 1 号

担 当：管理部 新垣（アラカキ）

(3) 質問書受付

日 時：令和 6 年 6 月 18 日（火）17 時 00 分～

令和 6 年 6 月 24 日（月）17 時 00 分（土、日、祝日を除く）

宛 先：沖縄リハビリテーションセンター病院

担 当：管理部 新垣（アラカキ）

方 法：別添「質問書」を E メールにて送付 E-mail：sinjigyo@tapic-reha.or.jp

(3) 回答日時

日 時：令和 6 年 6 月 27 日（木）17 時 00 分まで

方 法：E メールにて入札参加者へ通知する

(4) 入札日時

日 時：令和 6 年 6 月 28 日（金）11 時 00 分～

場 所：沖縄リハビリテーションセンター病院 新館 6 階 講堂

沖縄県沖縄市比屋根二丁目 15 番 1 号

※入札書提出時には、見積内訳書も提出すること

(5) 契約日時

日 時：令和 6 年 6 月 28 日（金）

場 所：沖縄リハビリテーションセンター病院

担 当：管理部 新垣（アラカキ）

4. 入札の無効

(1) 入札参加資格のない者のした入札

(2) 同一人が同一事項についてした 2 通以上の入札

(3) 2 人以上の者から委任を受けた者が行った入札

(4) 入札書の表記金額を訂正した入札

(5) 入札書の表記金額、氏名、印影又は重要な文字が誤脱し、又は不明な入札

(6) 入札条件に違反した入札

※上記の項目に 1 つでも該当する入札書は無効とする

5. 落札者の決定方法

最低の価格をもって入札した者を落札者とする

同額入札書提出においては抽選とする

6. その他

詳細については、資料配布時に配布される資料による

見守り支援機器導入に伴う設備要件

1. 概要

- (1) 見守り支援設備（以下、設備）は、ベッドサイドで取得したデータ等を、スタッフが業務を行う場所（ベッドサイド／スタッフステーション／その他）において、医療／介護に有用な情報として提供し、医療／介護業務を支援するシステムとする。
- (2) 設備は、電子カルテ／ナースコールシステムなど他の病院情報システムや、ベッドサイドで利用される各種機器／機材と連携し、患者／利用者情報（以下、患者情報）の参照／入力を可能とし、また設定に応じて数値や離床行動がある閾値を越えた場合に医療／介護職員に通知することを可能とする。
- (3) (2) で記載した情報は例えば、離床キャッチ付電動ベッド（以下、離床センサー付ベッド）から取得したベッド情報（ベッド角度／高さ／離在床情報など）、体動センサー：眠りセンサー（以下、体動センサー）から取得した情報（睡眠状態／呼吸数（※）／心拍数（※）／離在床情報など）、通信機能付バイタルサイン計測機器から取得した患者バイタルサイン情報（体温／血圧／呼吸／脈拍（心拍）／SpO₂／血糖など）、ネットワークカメラから取得した画像情報などである。

2. 各部の構成・機能

設備の最小構成は、サーバー／ベッドサイド端末とする。これに必要に応じて、離床センサー付ベッド／体動センサー／通信機能付バイタルサイン測定機器／ステーション端末／モバイル端末／ネットワークカメラなどを構成に追加できること。

2.1 サーバー（付帯物含む）

- (1) 設備を構成する各機器間のデータ管理や制御、イベント処理、データの保存などを行う。
- (2) 他の病院情報システムとの連携インターフェースとなる。たとえば、電子カルテシステムとは患者基本情報（患者 ID／姓名／生年月日など）の取得、バイタルサイン情報の取得／登録、施設情報（診療科／病室／病床など）の取得、患者の病床移動情報の取得、職員情報（職員 ID／パスワード／姓名／職種など）の取得などを行い、ナースコールシステムとは通知情報の送信／取得などを行う。
- (3) セキュリティを担保した保守回線（Internet-VPN／IP-VPN など）経由でリモートメンテナンスが行える機能を有する。
- (4) サーバー本体、ネットワークスイッチ、UPS、NAS 等から構成される。
- (5) 病院内のサーバーに仮想的にスマートベッドシステムのサーバーを構築することもできる。
- (6) ネットワークカメラで撮影した画像を一定の時間内で録画・保存することができる。
- (7) 離床／呼吸数／心拍数の通知発生に連動して、前後の一定期間にネットワークカメラが撮影した画像を別ファイルとして保存することができる。

2.2 ベッドサイド端末

- (1) ベッドサイド端末のタブレット部は液晶画面を有し、静電容量方式でのタッチパネル操作が可能とする。
- (2) ベッドサイド端末のタブレット部はバッテリーを有し、ベッドサイド端末の設置場所を変更する場合にシャットダウンや再起動などの電源の入／切を必要としない。また、常時給電しながら使用する場合のバッテリー劣化対策が組み込まれており、常時給電しながら使用することが可能とする。
- (3) 壁取り付け用プレートをを用いることで、(下地がある)壁面や床頭台への設置や、75mm×75mm／100mm×100mmのVESA規格に対応したモニターアームに設置が可能とする。
- (4) 次亜塩素酸ナトリウム(希釈濃度 0.05%未満)／アルコール(希釈濃度 81.4%未満)などでの清拭が可能であるもの(端子部分を除く)。
- (5) ベッドサイド端末の通信ユニット部の NFC 受信部は、FeliCa／Mifare／ISO15693 の通信規格に対応可能である。(通信ユニット部の NFC 受信部で、職員認証をする為の NFC 機能付 IC カードや、通信機能付バイタルサイン測定機器などの情報を読み込むことができる。)
- (6) 有線 LAN 通信または無線 LAN 通信が可能である。無線 LAN 通信は 2.4GHz／5GHz 共に利用可能である(IEEE802.11a／b／g／n／ac に対応)。
- (7) EMD 規格 JIS T 0601-1-2:2018 に適合している。
- (8) ベッドサイド端末の表示画面は、通常表示されている画面と、権限を付与された職員が職員認証をした後に表示される画面の 2 画面以上を有する。
- (9) ベッドサイド端末に病床番号を設定することで、電子カルテ上の同じ病床番号に入院中の患者を紐づけることができ、その患者に関する情報を表示することができる。
- (10) 電子カルテ上で(ベッドサイド端末に設定した病床と同じ病床に)患者の入院処理をすれば、ベッドサイド端末に自動で患者情報を表示することができる。電子カルテ上で患者の移動処理をすれば、移動元のベッドサイド端末からは自動で患者情報の表示を消し、移動先のベッドサイド端末に自動で患者情報を表示することができる。また、電子カルテ上で退院処理をすれば自動で患者情報の表示を消すことができる。
- (11) 電子カルテ等と連携して、患者基本情報(姓名／生年月日など)／患者属性情報(医療看護支援ピクトグラム／注意情報(転倒転落アセスメント／注意喚起)など)／患者入院情報(主治医／受持看護師など)／救護区分／アレルギー情報／感染症情報などを参照し、ベッドサイド端末に表示することができる。
- (12) 端末に表示する日時は、病院指定の NTP サーバーに接続することで、(病院指定の)正確な日時を表示することができる。
- (13) 秒針付のアナログの時計を表示することができる。
- (14) 患者が病室を離れて不在となる場合に、その不在情報を登録して表示することができる。

- (15) 電子カルテに登録されたバイタルサインなど(体温／血圧／呼吸／脈拍(心拍)／SpO₂／血糖)を取得／表示することができ、経時変化をグラフによって確認することができる。
- (16) FeliCa／Mifare／ISO15693 の通信規格に対応した通信機能付バイタルサイン計測機器を通信ユニット部の NFC 受信部にかざすことで、測定したバイタルサイン情報を読み込み、職員による登録操作後に、電子カルテに登録することができる。また、計測したバイタルサインを手動で入力し、職員による登録操作後に、電子カルテに送信することもできる。
- (17) しきい値を超えた体温／血圧／呼吸／脈拍(心拍)／SpO₂／血糖を色情報(黄色、赤色)と共に確認することができる。また、そのしきい値を設定することができる。
- (18) 離床センサ付ベッドと連携することにより、ベッド角度／高さ／離在床情報などを取得することができる。
- (19) 体動センサと連携することにより、睡眠状態／呼吸数(※)／心拍数(※)／離在床情報などを取得／表示することができ、経時変化をグラフによって確認することができる。
- (20) 離床／呼吸数／心拍数について、通知設定状態の確認ができ、通知設定を変更することができる(通知する・しない／通知する時間帯の設定)。また、発生した通知の履歴を確認することができる。
- (21) 離床／呼吸数／心拍数について、通知を一時停止する機能を有する。
- (22) 患者と離床センサー付ベッド、患者と体動センサーの組合せが変更になった際などに離床センサー付ベッドおよび体動センサーとのデータの紐づけを容易にする為、ベッドサイド端末は離床センサー付ベッドおよび体動センサーと有線で接続できる。
- (23) ベッドサイド端末と同じ病床に割り当てられているネットワークカメラのライブ画像を表示することができる。
- (24) 離床／呼吸数／心拍数の通知発生に連動して、前後の一定期間にネットワークカメラが撮影した画像を別ファイルとして保存するかしないかを設定することができる。
- (25) 職員認証に NFC 機能付 IC カード(FeliCa／Mifare)を使用することができる。
- (26) 権限を付与した職員以外がベッドサイド端末を操作できないように、NFC 機能付 IC カードのタッチ／ID・パスワードの入力などで職員認証をすることができる。
- (27) 職員がログインした後、無操作状態が一定時間以上継続した場合に、自動でログアウトすることができる。
- (28) 設定した夜間の時間帯は自動で画面を非表示とし(暗転し)、画面をタッチすると一定時間点灯し、一定時間経過後に自動で非表示にすることができる。
- (29) 個人情報保護に配慮し、患者や職員が所定の操作をすることで、夜間の時間帯以外でも画面を非表示にすることができる。
- (30) 個人情報保護に配慮し、院内ネットワークに接続できない状態となった場合には、患者情報等の表示を消し、患者情報等を端末内部に保存しない。

2.3 ステーション端末

- (1) ステーション端末の NFC カードリーダーは、FeliCa／Mifare の通信規格に対応可能である。(職員認証をする為の NFC 機能付 IC カードなどの情報を読み込むことができる。)
- (2) 有線 LAN 通信、無線 LAN 通信が可能である。無線 LAN 通信は 2.4GHz／5GHz 共に利用可能である (IEEE802.11a／b／g／n／ac)。
- (3) ベッドサイド端末の表示画面は、通常表示されている画面と、権限を付与された職員が職員認証をした後に表示される画面の 2 画面以上を有する。
- (4) 電子カルテ上で患者の入院処理をすれば、ステーション端末上の各病床に自動で患者情報を表示することができる。電子カルテ上で患者の移動処理をすれば、移動元のステーション端末上の各病床からは自動で患者情報の表示を消し、移動先のステーション端末上の各病床に自動で患者情報を表示することができる。また、電子カルテ上で退院処理をすれば自動でステーション端末上の各病床の患者情報の表示を消すことができる。
- (5) 電子カルテ等と連携して、患者基本情報(姓名／生年月日など)／患者属性情報(医療看護支援ピクトグラム／注意情報(転倒転落アセスメント／注意喚起)など)／患者入院情報(主治医／受持看護師など)／救護区分／アレルギー情報／感染症情報などを参照し、ステーション端末に表示することができる。
- (6) 端末に表示する日時は、病院指定の NTP サーバーに接続することで、(病院指定の)正確な日時を表示することができる。
- (7) 病棟内に設置されたベッドサイド端末に紐づいた患者の患者情報／バイタルサイン情報／接続された機器情報等、1 病棟内の情報を一覧で確認することができる。
- (8) 患者一覧を表示した状態で患者単位の呼吸数／心拍数／離床の通知状態の確認ができる。
- (9) ベッドサイド端末で登録した患者の不在情報を、患者一覧画面に表示することができる。
- (10) 電子カルテに登録されたバイタルサインなど(体温／血圧／呼吸／脈拍(心拍)／SpO₂／血糖)を取得／表示することができ、経時変化をグラフによって確認することができる。
- (11) しきい値を超えた体温／血圧／呼吸／脈拍(心拍)／SpO₂／血糖を色情報(黄色、赤色)と共に確認することができる。また、そのしきい値を設定することができる。
- (12) 離床センサー付ベッドと連携することにより、ベッド角度／高さ／離在床情報などを取得することができる。
- (13) 体動センサーと連携することにより、睡眠状態／呼吸数(※)／心拍数(※)／離在床情報などを取得／表示することができ、経時変化をグラフによって確認することができる。
- (14) 呼吸数／心拍数について、通知設定状態の確認ができ、通知設定を変更することができる(通知する・しない／通知する時間帯の設定)。また、発生した通知の履歴を確認することができる。

- (15) ネットワークカメラを病床に割り当てる機能を有し、また割り当てているネットワークカメラを解除する機能を有する。
- (16) 病床に割り当てられているネットワークカメラの撮影、撮影停止を制御することができる。
- (17) 病棟内の病床一覧を表示した状態で、各病床に割り当てられているネットワークカメラが撮影中か撮影停止中かをアイコンで表示することができる。
- (18) 選択したネットワークカメラのライブ画像を同時に複数表示することができる。
- (19) 離床／呼吸数／心拍数の通知が発生した際にサーバーに保存されているネットワークカメラの画像を参照することができる。
- (20) 職員認証に NFC 機能付 IC カード (FeliCa／Mifare) を使用することができる。
- (21) 権限を付与した職員以外がステーション端末で情報の編集操作できないように、NFC 機能付 IC カードのタッチ／ID・パスワードの入力などで職員認証をすることができる。
- (22) 職員がログインした後、無操作状態が一定時間以上継続した場合に、自動でログアウトすることができる。
- (23) 個人情報保護に配慮し、院内ネットワークに接続できない状態となった場合には、患者情報等の表示を消し、患者情報等を端末内部に保存しない。

2.4 ネットワークカメラ

- (1) 有線 LAN 通信、無線 LAN 通信が可能である。無線 LAN 通信は 2.4GHz／5GHz 共に利用可能である (IEEE802.11a／b／g／n／ac)。
- (2) ONVIF 規格に準拠した通信が行えること。
- (3) HTTP でアクセス可能なこと。

- ※ 体動センサ (眠りセンサー) から取得した呼吸数、心拍数は参考値である。
- ※ ネットワークカメラに関する各機能については、ネットワークインフラ、サーバーのデータ保存容量などの制約を受ける為、詳細については確認・協議が必要である。

以上

一般競争入札参加申込書

医療法人タピック

理事長 宮里 好一 殿

令和 年 月 日

住 所
商号又は名称
代表者職氏名

令和6年6月18日付で入札公告のありました下記案件に係る一般競争入札に参加したいので、本書を提出いたします。なお、入札の際には入札参加心得を遵守するとともに、提出する全ての書類について、事実と相違ない内容であることを誓約します。

記

件 名 令和5年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業

(仮称) 介護老人保健施設 亀の里 見守り支援機器導入 一般競争入札

令和 年 月 日

医療法人タピック
理事長 宮里好一 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名
担当者 Email

質 問 書

令和 5 年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業
(仮称) 介護老人保健施設 亀の里 見守り支援機器導入 一般競争入札について、次のとおり質問します。

質 問 事 項	

(備考)

1. 用紙はA 4 版としてください。
2. 質問事項ごとに番号を付けてください。
3. メールにより提出する場合は、電子データのまま (Microsoft Word) とし、PDFファイルに変換しないこと。